

フィリピン留学・支援だより①出発まで 2019年2月～3月2日

第5回取手一高「フィリピン留学・支援スタディツアー」16名(2年4、1年12)が無事フィリピン・セブ市に到着しました。セブ市「IDEA ACADEMIA」で1週間の英語学習を行いながら、週末はスラム地区の音楽学校 NPO「セブン・スピリット」の子どもに取手地域からの支援品を届け、日本文化で交流します。

同 NPO 田中宏明氏代表から、1月に「楽器のメンテナンス用品が必要です」というリクエストがありました。取手一高「地球市民活動部」とスタディツアー参加者は、校内で募金と楽器の寄付を呼びかけました。母校の小・中に呼びかけて、ヴァイオリン、ピアノ、鉄琴、リコーダー、絵本や教科書・文具を寄付いただきました。2月18日には高校生ネットワーク「一つ空の下で(略称: UNSAM)」の協同によって、取手一高・取手一高・藤代高生で取手駅前で募金活動を行い、校内募金と合わせ3万円の目標を達成しました。

取手一高「第3回フィリピン留学・支援ツアー」(2017年)よりフィリピン・セブ市の語学学校「IDEA Academy」の Skype Lesson を導入して、留学2か月前から週1回オンラインの事前授業で、留学への不安を減らし、フィリピン講師と仲良くなって英会話へのモチベーションを高めました。

英語力を自分の進路に生かすだけでなく、スラムの子どもたちの生活状況や将来の夢などを英語でインタビューし、地域に伝えるための英語学習でもあります。

帰国後、オンラインによる英語学習やフィリピンなど海外との交流を継続し、フィリピンと日本をつなぐ活躍を目指します。

3月2日 12:00 成田空港集合

取手一高卒業式の翌日、家族のお見送りの中、16名の1・2年次生徒が成田空港より新たな出発をしました。スーツケースに支援品をつめ、留学生が集合しました。快晴の空、14:25 フィリピン航空 433 便が飛びたちました。

20:00 セブ島マクタン国際空港に到着

約5時間のフライト後、セブ島・マクタン空港に到着。第一声は「暑っ!」。送迎バスで IDEA へ移動し、夕食とオリエンテーションを行い、Sarrosa International Hotel に移動し、第一日目を終えました。



駅前募金は、多くの励ましの声を頂きました



駅前募金を終え、3校の高校生が記念写真



講師はみなフレンドリーのオンライン授業



「セブ行き」掲示版の前で、出発前「チーズ!」